



平成28年11月10日

各 位

上場会社名 東洋合成工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 木村 有仁
 (コード番号 4970)
 問合せ先責任者 経理財務本部長 多木 宏行
 (TEL 03-5822-6175)

第2四半期業績予想と実績値との差異 及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異、および通期業績予想値を下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,900	200	100	60	7.56
今回修正予想(B)	8,653	110	63	24	3.05
増減額(B-A)	△247	△90	△37	△36	
増減率(%)	△2.8	△45.0	△37.0	△60.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	8,817	512	411	256	32.34

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	650	450	290	36.54
今回修正予想(B)	17,500	350	200	120	15.12
増減額(B-A)	△500	△300	△250	△170	
増減率(%)	△2.8	△46.2	△55.6	△58.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	17,919	966	688	468	58.97

修正の理由

1) 差異の理由

当第2四半期累計期間は、販売数量が当初の予想を上回りましたが、為替相場における急速な円高進行の影響により、売上高は計画を下回って推移しました。また利益面では、円高影響による売上高減少の影響、及び営業外費用(為替差損)を計上したことなどにより、当初計画を下回りました。

2) 修正の理由

今後の見通しについては、米国において景気回復が期待される一方、中国、アジア新興国等の景気下振れ懸念に加え、英国のEU離脱問題など、世界経済の不確実性の高まりへの懸念から、為替相場では円高傾向が続くことが想定されます。このような中、当社の通期業績については、引き続き販売数量の増加が見込まれるものの、下半期の想定為替レートを108円/US\$から100円/US\$に変更した結果、前回公表予想を下回る見込みです。

3) その他

年間配当については、平成28年5月13日の公表通り、1株につき10円とさせて頂く予定であり、変更はありません。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上